

JA 全農ちば 営農情報集

2025年
3月



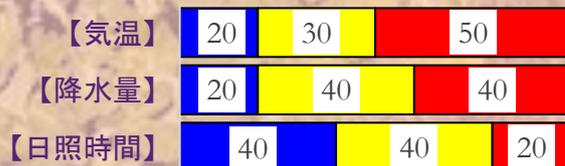
今月の情報

1. 水稲作のポイント
2. 園芸野菜 病害虫防除情報
3. 果樹（ナシ）病害虫防除情報
4. Z-GIS キャンペーン

今月の気象（気象庁3/1発表 1か月予報より）

3月は先月と比べて、気温、降水量ともに高くなる予報です。

病害虫の発生が少しずつ増えてきますので早めの対策を心がけましょう。また、早朝や夕方の急な冷え込みにも気をつけましょう。



■:低い ■:平年並み ■:高い

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

水稲作のポイント

種籾の播種と育苗管理について

JA全農ちば
営農支援部

種子の配布も始まり7年産水稲作がいよいよスタートします。

気象の極端化による、「突発的な高温・低温」に注意しましょう。

また、播種や移植時期の早限を越えると、冷害の危険性（特に植え付けの早い早生品種や低温に弱い品種）がありますので、適期播種・適期植え付けをしっかりと守り、良質な苗の移植を行いましょう。

1. 千葉県の播種・移植時期の早限及び出穂期の目安

各品種の耐冷性を考慮した播種・移植の早限は下記のとおりとなります。

品 種 名	地 域					
	安房・東京湾岸南部			その他の全域		
	播 種	植え付け	出穂期	播 種	移 植	出穂期
ふさおとめ ふさこがね コシヒカリ 粒すけ	3月20日	4月15日	7月15日	3月25日	4月20日	7月20日

※稲作標準技術体系（千葉県・千葉県農林水産技術会議）より抜粋

2. 種子消毒について

種子伝染性病害である「ばか苗病」・「いもち病」・「細菌性苗立枯（もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病）」などの発生を防ぐために必ず実施しましょう。

種子伝染性病害の多くは、種籾の周りや内部に付着・侵入した病原菌により、育苗中に発生します。種子消毒による予防的防除が重要です。

※種子消毒の動画を JA 全農ちばホームページにて公開中です。

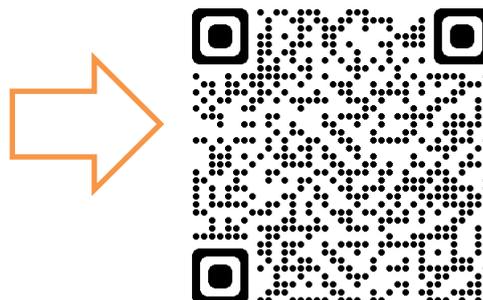
種子消毒剤及び使用方法

- ・ヘルシードTフロアブル 200倍24時間種子浸漬
- ・テクリードCフロアブル 200倍24時間種子浸漬

※薬剤浸漬の水温は10～15℃で実施しましょう。

極端な高温・低温は薬害、効果不足、発芽不良などが起こりやすくなります。

全農ちばホームページ
種子消毒紹介動画公開ページ
(下段の「おすすめ」に掲示中)



3. 浸種について

浸種時の水温目安は種子消毒同様、10～15℃で実施しましょう。積算水温 100℃を目安に(水温 10℃で 10 日間)水に漬け、十分に吸水させましょう。

種子消毒の効果を高めるために、浸種後 3 日目までは水の交換はせず、4 日目以降に水を交換しましょう。

※「低温貯蔵種子」であっても浸種を長めにとる必要はありません。

種子消毒・浸種・催芽スケジュール例

一般種籾の場合	エコホープDJ使用の場合
種籾消毒 (24時間浸漬)	種籾消毒 (24時間浸漬)
↓	↓
陰干し (1日間)	必要なし
↓	↓
※浸種 (3日間)	※浸種 (3日間)
↓	↓
水交換	水交換
↓	↓
浸種 (3日間)	浸種 (3日間)
↓	↓
水交換	水交換
↓	↓
浸種 (2日間)	浸種 (2日間)
↓	↓
水交換	水交換
↓	↓
浸種 (2日間)	浸種 (2日間)
↓	↓
催芽・は種	催芽・は種

※浸種 4 日目以降は、毎日水交換を行っても良い。(浸種水温の上昇を防ぐ・酸素供給のため)

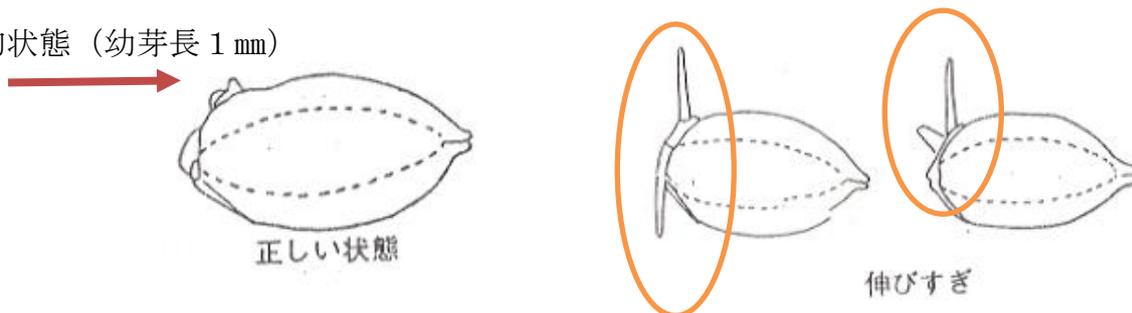
※微生物資材 (エコホープDJ など) を使用する場合、種子消毒後に風乾 (陰干し) しない。

4. 催芽について

発芽を揃えるため、浸種後に催芽をおこないましょう。

温度(水温)30℃以下で 24 時間を目安に幼芽長 1 mm 以内で完了です。

ハト胸状態 (幼芽長 1 mm)



5. 培土消毒

培土消毒は育苗中に発生する苗立枯病（カビ）や、細菌病を予防するために行います。

(1) 細菌性病害が心配される場合はフタバロンA粉剤を使用しましょう。

ア. 播種前の床土への灌水はタップリと行いましょう。播種直後の覆土への灌水は行いません。

イ. 薬剤と育苗用土の混和は、使用量をきちんと守り、播種7日前～播種直前に実施しましょう。（培土20リットルに対して「フタバロンA粉剤」100gを均一に混和）

ウ. フタバロンA粉剤は「覆土」のみに使用できます。

★床土の灌水と、播種後の覆土が少ないと「根上がり」しやすくなるので注意しましょう。

(2) 苗立枯病（カビ）と防除薬剤について

育苗箱に発生する苗立枯病の種類と病徴及び発生条件

病原菌	病徴	発生条件	薬剤名
リゾープス菌	箱の表面全体に白～灰色のカビが広がる。	出芽時の高温(35℃以上)・多湿	ナエファインフロアブル ダコレート水和剤 ダコニール1000
フザリウム菌	根の周りに白～ピンク色のカビが生じる。	播種後の低温及び乾燥と過湿の繰り返し	ナエファインフロアブル ダコレート水和剤 タチガレエースM液剤
トリコデルマ菌	地際部に白カビが生じ、その後青緑色カビに変わる。	出芽時の高温(30℃前後)	ダコレート水和剤
ピシウム菌	坪枯症状をおこす。萎凋し下葉から褐変枯死する。	緑化期以降の低温	ナエファインフロアブル タチガレエースM液剤



リゾープス菌（白色）



フザリウム菌（ピンク色）



トリコデルマ菌（緑色）



ピシウム菌（坪枯れ・褐変）

6. 育苗時の温度管理

平置き育苗は播種後～出芽まで昼間 20～30℃、夜間 10～20℃の温度の確保が必要です。しかし、3月下旬の播種は育苗時に低温になる期間が多く、出芽の遅れや病気が発生するリスクが高くなります。

健全な育苗のために、被覆資材で保温し温度管理をしっかりと行いましょう。

育苗時の温度管理

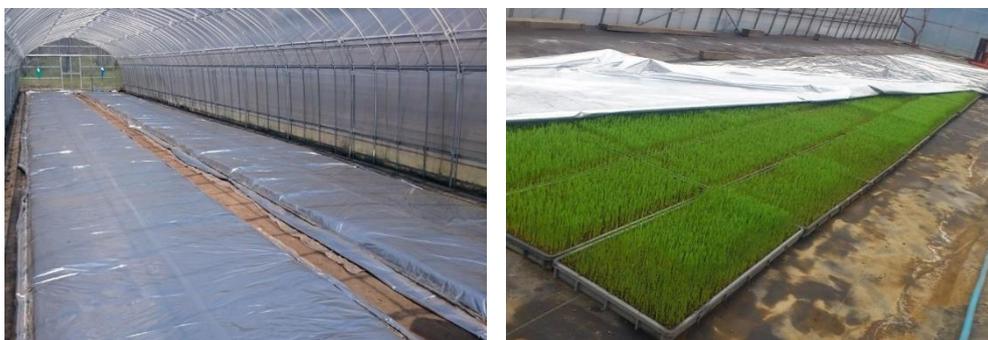
		出芽		緑化	硬化
		加温出芽	無加温出芽		
日数		2日	5日前後	2～4日	15～20日
箱を置く場所		育苗器	ハウス	育苗器 ハウス	ハウス
温度	昼	30℃	20～30℃	20～25℃	25℃以下
	夜	30℃	10～20℃	10～20℃	5～10℃

省力被覆資材「太陽シート」について

「太陽シート」は、被覆内の日中の高温防止と夜間の保温を同時に行い、発芽適温を保つ資材で、緑化期までのハウスの換気作業を軽減することができます。

低温期では温度を高める効果は期待できないため、ハウス内が 10℃以下になることが予想される場合は、太陽シートの上、または下に手持ちの被覆資材で2重掛けを行い、事前に保温に努めます。

また、播種後、太陽シートを被覆する際に、事前にハウス内および地温を高めておく事で、保温効果を発揮させることができます。



太陽シート利用の様子

園芸野菜 病虫害防除情報

1. はじめに

春夏作物の準備時期となりました。気象庁発表の1か月予報によりますと、3月は気温が高くなることが予想されています。あたたかくなり、病虫害ともに急激な増加の恐れがありますので、注意して防除を行いましょ。また、近年異常気象とも言われている通り、日々の気温差に加え、一日の中でも気温差が大きくなります。寒暖差にも注意して換気や灌水を行いましょ。

2. 各作物苗床 — 苗立枯病

主にピシウム菌やリゾクトニア菌が原因で、育苗初期に発生し、茎の地際部分が腐敗してやがて倒伏します。高温多湿条件で発生しやすいため、過度な灌水や密植は避け、換気を行いましょ。

(左) ピシウム菌被害 (右) リゾクトニア菌被害



- ・ピシウム菌被害の特徴 : 地際付近が褐色に変色し、軟らかく軟腐状になる。
- ・リゾクトニア菌被害の特徴 : 地際付近が褐色に変色し、くびれて細くなる。

○苗立枯病 防除薬剤 例 (使用時は各作物の登録内容をご確認ください)

対象病害	FRACコード*	薬剤名	使用方法
苗立枯病	M4	オーソサイド水和剤 80	散布または灌注処理
苗立枯病 (リゾクトニア菌)	M5	ダコニール 1000	
	14	リゾレックス水和剤	

3. スイカ — うどんこ病

うどんこ病は苗床から持ち込んでしまうこともあります。発生は株元の葉から始まるため、発生初期を見逃さないように注意しましょ。

苗の段階で明らかに被害が見られる場合には定植を避けるか、定植後に治療効果のある殺菌剤散布を行いましょ。定植後はベルコートフロアブルでの予防を基幹とし、着果後の急速な蔓延に備える早めの対策を心がけましょ。



●スイカ うどんこ病 防除薬剤※登録のうち最大濃度を示す (例: 1000~2000 倍登録→1000)

FRACコード	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数	備考
M7	ベルコートフロアブル	1000	収穫前日	4回以内	予防・治療△
3	トリフミン水和剤	3000	収穫前日	5回以内	予防・治療
7	パレード20フロアブル	2000	収穫前日	3回以内	予防・治療△
11	ストロビーフロアブル	2000	収穫前日	3回以内	予防・治療

環境保全 環境負荷に係るリスク管理, 温室効果ガス削減の取組み、土づくりや施肥設計を通じた土壌管理 農薬の使用

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば 営農支援部

4. イチゴ — アブラムシ

イチゴに寄生するアブラムシは、主にワタアブラムシやモモアカアブラムシなどの種類があり、特に新芽や葉の裏に群がって植物の汁を吸います。体長は約1~3mmと小さく、色は緑色や黄色、赤褐色など種類によって異なります。

アブラムシは雌だけで単独繁殖（単為生殖）し、短期間で大量に増殖する特徴があります。春や秋には翅のない無翅虫が増え、条件が悪くなると翅のある有翅虫が発生し、新たな寄主へ移動します。また、卵ではなく幼虫を直接産む（卵胎生）ため、非常に短いサイクルで世代交代を繰り返します。

さらに、アブラムシは吸汁する際に植物にウイルスを媒介することがあるため注意が必要です。



ワタアブラムシ

●イチゴ アブラムシ類 防除薬剤 ※登録のうち最大濃度を示す（例：1000~2000 倍登録→1000）

IRAC コード	薬剤名	希釈倍数 ※	使用時期	使用回数	備考
4C	トランスフォーム フロアブル	2000	収穫前日	3回以内	
28	ベネビア OD	2000	収穫前日	3回以内	
29	ウララ DF	2000	収穫前日	2回以内	
—	ピタイチ	500	収穫前日	—	

5. にんじん — ヒョウタンゾウムシ類

ヒョウタンゾウムシの多くは圃場外から侵入し、畝内へ入ってきます。2024年9月にトクチオン細粒剤Fが適用拡大されました。マルチの隙間や土の塊の下に潜っていることが多い害虫です。トンネル除去前後の発生状況を確認しつつ、成虫防除として、トクチオン細粒剤Fまたはコテツフロアブルの散布を行いましょう。



●ニンジン ヒョウタンゾウムシ 防除薬剤

IRAC コード	薬剤名	希釈倍数 ※	使用時期	使用回数	備考
1B	トクチオン細粒剤F	6kg/10a	収穫 21 日前	2回以内	株元散布
13	コテツフロアブル	2000	収穫前日	2回以内	成虫防除剤
22B	アクセルフロアブル	1000	収穫前日	3回以内	成虫防除剤

※登録のうち最大濃度を示す（例：1000~2000 倍登録→1000）



果樹(ナシ)病害虫防除情報



1. はじめに

今年の桜の開花時期は平年よりも早くなると予想されています。【桜開花予想（2月27日現在）：東京3月21日・銚子3月28日】同様に、ナシの開花時期についても平年より早まる可能性があります。花芽の様子や気象状況をよく確認し、作業を前倒しにするなどの計画を立て、病害虫の被害を抑えられるように努めましょう。

2. ナシマルカイガラムシ・その他カイガラムシ類

主に枝に寄生し、吸汁加害します。発生密度が高いと果実表面にも寄生するため、商品価値を低下させます。発生密度を抑えるためには、春先のマシン油乳剤散布が重要です。

これは、カイガラムシ類のほかにも、ハダニ類やニセナシサビダニの防除も兼ねます。

しかし、薬剤が虫体に付着しないと効果が期待しにくいので、発生している樹には散布ムラのないよう、丁寧（特に枝上面や分岐点部分）に散布しましょう。



(1) 薬剤防除

○3月上旬ごろ

ハーベストオイル 50~200倍 (発芽前)
+

アプロードフロアブル 1,000倍 (収穫30日前まで・2回以内)

※ハーベストオイル（マシン油乳剤）は発芽前に散布する

※アプロードはナシマルカイガラムシ多発園で加用（同時散布）する

※アプロードは水和剤でも可

3. 黒星病・アブラムシ類

各防除適期（りん片脱落期から交配終了後まで）を逃さないようにしましょう！

(1) 耕種的防除（黒星病）

芽基部に発病が見られた場合は基部から切除しましょう。

また、黒星病が発生した落葉は、そこから胞子が飛散し、伝染源になります。園内に残っている落葉は、土中に埋めるか園外に持ち出して処分しましょう。



(2) 薬剤防除

①りん片脱落期（3月下旬ごろ～）

- ・トレノックスフロアブル 500倍 （収穫30日前まで・5回以内）
または
- ・デランフロアブル 1,000倍 （収穫60日前まで・4回以内）

早い品種の花芽
がこれくらい開
いてきたら防除



上図はりん片脱落期の目安

②りん片脱落終了後～開花直前（4月上旬ごろ）

- マネージDF 6,000倍 （収穫21日前まで・3回以内）
+
- トレノックスフロアブル 500倍 （収穫30日前まで・5回以内）
+
- ウララDF 2,000倍 （収穫14日前まで・2回以内）

※混植園の散布目安は開花の早い品種（豊水など）のりん片脱落終了後～開花直前

③開花中【臨機防除】（長雨や強雨の影響で追加防除が必要な場合）

- トレノックスフロアブル 500倍 （収穫30日前まで・5回以内）
※散布当日は受粉作業を行わないこと

④交配終了後（4月中下旬ごろ）

- スコア顆粒水和剤 4,000倍 （収穫14日前まで・3回以内）
+
- トレノックスフロアブル 500倍 （収穫30日前まで・5回以内）
+
- バリアード顆粒水和剤 4,000倍 （収穫前日まで・3回以内）

(3) アブラムシ類被害について

アブラムシは3月下旬ごろから飛来し始め、展葉期ごろから、右写真のように葉が縮れて内側に巻くような被害が現れます。発生すると急激に増殖するため、抜け目ない防除を実施しましょう。



4. その他

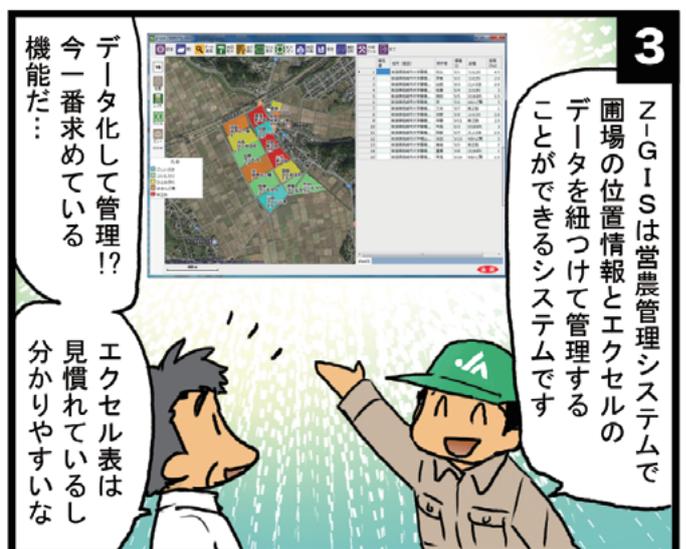
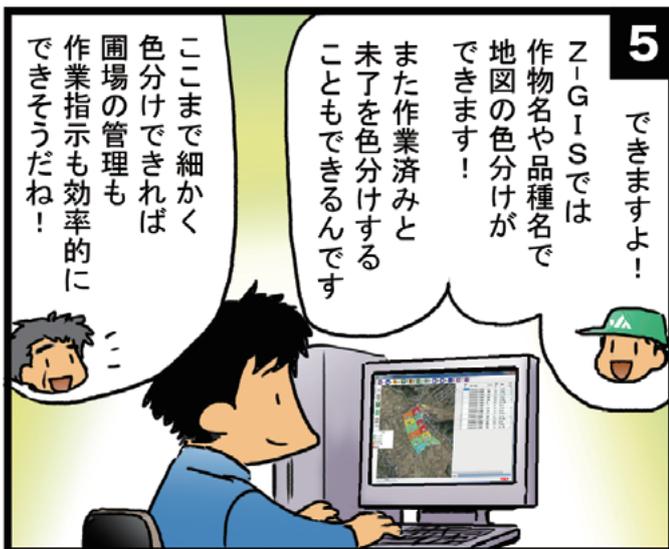
また、千葉県農林水産部から「ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）」が導入されております。開花予測の参考にしながら適宜防除を実施しましょう。

HP： [ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）](https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/system/nashikaikayosoku.html) / 千葉県 (chiba.lg.jp)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/system/nashikaikayosoku.html>



圃場管理ならお任せあれ！ スマートフォンに表示可能 営農管理の強い味方！Z-GISのご紹介★



●営農管理システム「Z-GIS」のお問い合わせは

一般社団法人 農協協会 Z-GIS管理部

JA全農 耕種総合対策部 スマート農業推進課

TEL.03-3639-1125

TEL.03-6271-8274



<https://z-gis.net/99/>

今ならお得なチャンス!

はじめようスマート農業キャンペーン

日々の作業を
効率化しませんか?

2024年12月1日 ▶ 2025年3月31日

営農情報を地図で可視化!

Z-GIS

全農 営農管理システム



入会者 (新規のみ)

利用料

ご加入から **4カ月目**まで

無料

例: 2月15日申込の場合、5月末までの利用料が無料

申込みは
Z-GISホームページ▶
または専用申込書から



Z-GIS 初級者向け WEB講習会開催

12月から
毎月開催!
メールで
ご案内

キャンペーン期間中の入会者向けZ-GISの初級WEB講習会を開催

1月16日、1月23日、2月13日、2月20日 ※すべて16:00~1時間

Z-GIS 全農 営農管理システム できること

1 管理項目別に色分けや抽出が可能!



2 管理項目を
地図上に表示!



3 1kmメッシュ気象情報を確認可能!



4 スマホからも
簡単入力可能!



利用料金は、100圃場ごと月額220円(税込) **費用を抑えて圃場管理が始められます!**

【お問合せ】 JA全農耕種総合対策部スマート農業推進課 TEL03-6271-8274 ✉ zz_zk_smart@zennoh.or.jp

JAグループ

全農